

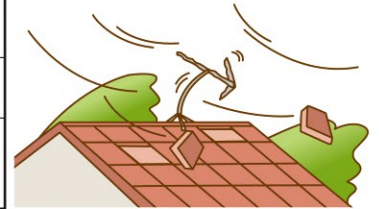


台風・大雨に備えて

風水害は、事前にある程度予測できるとはいえ、台風などがもたらす大雨・強風の威力は計りしれません。また台風が過ぎ去ったとしても河川の増水・氾濫のおそれがあります。テレビ・ラジオなどの気象情報に十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

● 注意報・警報・特別警報

種類	発表の時期
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想される時。重大な災害が発生するおそれ著しく高まっている時。
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風・温帯低気圧による暴風が予想される時。
記録的短時間大雨情報	1時間雨量 100mm の猛烈な雨を観測した時。
土砂災害警戒情報	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まった時。
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれのある時。
洪水警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのある時。
暴風警報	暴風によって重大な災害が起こるおそれのある時。
大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれのある時。
洪水注意報	河川の増水によって災害が起こるおそれのある時。
強風注意報	強風により災害が起こるおそれのある時。
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風が発生しやすい気象状況になった時。



● 雨の降り方と注意報・警報の関係(目安)

発表目安	記録的短時間大雨情報				
	大雨注意報			大雨警報	大雨特別警報
	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 (mm)	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
雨の降り方 人の受ける ダメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような 圧迫感がある。 恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っているとき	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	